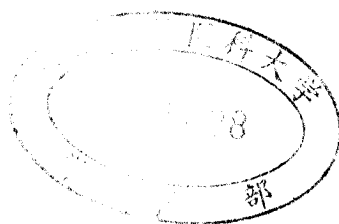


2005年度

Block 6 テュートリアル課題

課題番号 5

歩くと痛い



本書の全部または一部を転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください

医療・病院管理学 上塚 芳郎

課題サマリー

(課題番号) 2005-B6-T2-5

ver5.0

平成17年9月2日現在

課題名 歩く痛い

<課題作成担当教室(責任者)> 医療・病院管理学 上塚芳郎

<課題作成者> 上塚芳郎 内線(38316, PHS28986)

中心テーマ 生活習慣病

<課題の目的> 生活習慣病はだれにでも起こりうる病気であり、早期に生活習慣の是正に努めれば予防することができることを理解する。また、国レベルでも「健康増進法」「健康日本21」などの施策がとられていることを理解する。

キーワード:

生活習慣病、閉塞性動脈硬化症(ASO)、フォンテーン分類、健康増進法、喫煙、高血圧症

シート1

大島博行さん57歳は、大手企業の役員ですが、接待が多く連日外食が続く毎日です。また、好きなタバコもやめられません。最近ゴルフ場で100mぐらい歩くと右足のふくらはぎが痛くなることに気づきました。休むと痛みは消えますが、再び歩くと同じ症状が出ます。

シート2

最近、夜寝ているときにも右足のふくらはぎが痛むことが起こるようになったため、病院を受診したところ、医療面接を受けた後に、痛みのあったふくらはぎを中心に触診を受けました。また、外来でMRIの検査を受けました。

<資料>

- 1.初診時身体所見
- 2.ABIの結果
- 3.総腸骨動脈から遠位部のMRIアンギオ写真
- 4.腰椎のMRI写真

シート 3

診断の結果、大島さんは、病期がフォンテーン分類の3度でした。
喫煙は、18歳で始めました。友人が吸っているのを見て、好奇心から始めましたが、次第に本数が多くなり就職してからは、1日40-60本ぐらいになっていました。

シート 4

大島さんは、担当医から禁煙するように言われました。隠れてタバコを吸っているのを奥さんに見とがめられました。外来担当医から、そけい部からカテーテルを入れて風船で治療する治療法と、内科的に薬で治療する方法があることを説明されました。どちらを選択するかは大島さんにまかされました。その結果、大島さんは、血液の流れをよくする薬の点滴注射を外来で受けるようことを選びました。

シート 5

平成15年の4月に、通勤のために朝、京王線の駅に行きタバコを吸おうとしたところ、今までホームに設置されていた灰皿がなくなっているのに気づきました。駅の掲示板には、「平成15年4月から健康増進法の施行により駅構内での喫煙が禁止となりました」とありました。
健康増進法という言葉がテレビなどで話題になっていましたが、とうとう身近なところまで、変化が来たことに驚きました。